



学校法人 白井学園  
白井幼稚園へ  
ようこそ

作成：2024年 10月加筆

# 臼井幼稚園はこんなところ

---

子どもによる、子どものための、子どもの教育

\*子ども達が犠牲になるような保育がありません。

\*できる子ばかりが目立つことはありません。

\*子ども同士で育ち合う教育。

教師の指示がなくても、  
自分で考えて動ける子どもに育てたい。

# ピアジェの教育理論 認知発達心理学に基づく



どんな行動にも心理がある

心理を無視して育てようとする早期教育や小学校の先取りは、知識の詰め込みにすぎず、将来応用が利かない。結局身に付かず、定着しない知識になってしまう。

(小学校で問題になっている小1の暴力や小4の壁)

「楽しいから好き」「好きだからやってみたい」  
子どもの心を大きく、広く伸ばしたい。

# すべてが自己表現

---

表現には正しい、間違っている、はない。

表現遊び色々

描画、壁面製作、誕生壁面、木工遊び、ダンボール遊び、造形  
リズム・バリエーション、クリエイティブ・ムーブメント、  
サウンドプレイ、ザイロホン、カスタネットなどなど

# 行事は通過点に過ぎない

---

行事は、日常保育の通過点だから、目標を達成するものではないと考えています。

だから、「毎日が運動会」で、「毎日が発表会」

臼井幼稚園には「がんばる」も「練習」もない。

「練習が嫌」だから幼稚園に行きたくない、  
がありません。

# 教育の連続性と無駄のない構成

---

幼稚園での一日は「楽しかった！」で完結。  
どんなカリキュラムでも「練習」にならないように、  
バリエーションを持たせる。  
午後も主活動となる保育がある。  
時間の無駄を極力なくす保育。  
子ども達の心の自由は保障しながら、  
けじめはつけられるように。  
先生からよりも、子ども同士で学び合う。

# できるだけ一緒に

---

障害のある子ども、できるだけ一緒に保育活動を。

「インクルーシブ教育」をしている、と言いたくはない。

でも、臼井幼稚園を望んできてくれたお子さんは、ご家族も含めてサポートします。

発達がゆっくりの子ども、発達に困難さを抱えている子ども、みんなできるだけ一緒にクラスのクラスで過ごせるようにしています。

# 臼井幼稚園のいいところ

---

健常なお子さんの親御さんは、「うちの子、犠牲になっていない？」と心配でしょうか？

支援の必要なお子さんにはサポートの教員がつくようにしています。教員は、手伝い過ぎず、他のお子さんの迷惑になったり、命の危険がある時には、障害のあるなしに関わらず、かなり叱ります。

臼井幼稚園の子ども達は、困っている友達や泣いている友達にとっても優しいです。他者への思いやりが育っています。

# 教職員が多い。

---

## 見守る目と手

教職員が多いのは特別に支援の必要なお子さんのためだけではない。

教員：12名

事務：2名

パート教員：7名

パート職員：11名

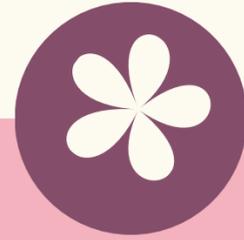


# 幼稚園？保育園？

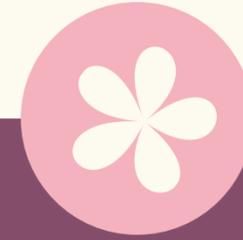
どちらがいいか、悩んでいますか？



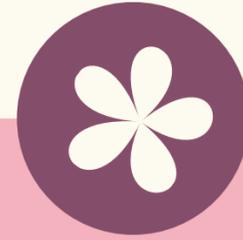
仕事に間に  
合わない



長時間預けたい



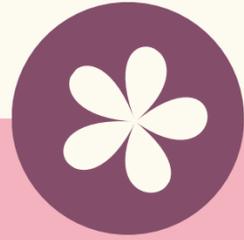
幼稚園と  
保育園の違いが  
わからない



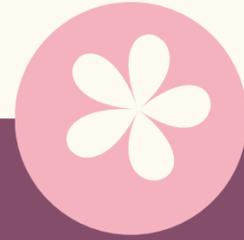
決め手は  
どんな子に  
育てたいか



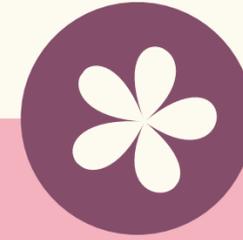
# 幼稚園を選ぶ基準は何ですか？



親の友達の子ども  
が行くから

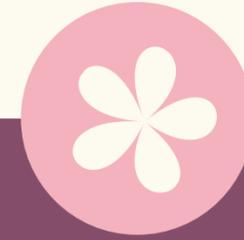


小学校の  
学区



費用

安いだけでなく、  
高い場合も



家が近い、  
バスが家の近く  
まで来る





# 見学はいつでも、何度でも、 お越しく下さい

---

親御さんが心から納得できる幼稚園を選んでください。  
入園させてもらえればどこでもいい、それは悲しい。

大事なお子さんを「どんな子に育てたいか」。  
臼井幼稚園では一緒に考えて育てていきたいと考えます。

# PONOとの併用ができます

2024年6月に幼稚園の敷地内につくった  
発達支援事業所PONO

ここ10年の間に発達障害の子どもが増えていることを実感。  
幼稚園に通いながら、その子に合わせた、オーダーメイドの  
支援をしたいと考えて設立しました。  
子どもの様子と、幼稚園のカリキュラムに  
合わせて、併用できます。

